

資料① 東京都教育連絡会からの中間報告 教員・生徒の声 都内 83 校から寄せられた声

スピーキングテスト当日や後日に、生徒や保護者から報告されたトラブル(複数回答可)

1. 会場役員・試験官の誘導や対応、指導や言動が不適切だった (8件)

—試験監督の指示の不徹底で生徒が犠牲になっています。—

- ①外国籍の生徒が、指示が理解できず、スタートを早く押ししまい、別室に連れて行かれた後、受験できなかった。
- ②監督者が手順をよく分かっておらず、手順とは異なって案内されたり、全体の様子を見て指示されたりすることがなかったと生徒から複数回答があった。混乱の気持ちがありながら試験を受けた生徒も多くいた
- ③監督者が手の開始の合図を出さず、いつ解答したら良いかわからず、回答しない、できない生徒がいた。同じ教室で悩んだが、自分の判断で始めた生徒がいた。前者の生徒は 15 日の再テストを受けることになった。後者の生徒は不安になりテスト後監督者に自分で始めて良かったのか聞き、多分大丈夫と言われ、不安のまま家に帰り、事務局に母が電話までしている。
そうでなくても、不安と戦いながら勉強している生徒を、不安な気持ちにさせ、何のフォローもなく、返し、学校にも一報も入れず、校長会で状況を集めているようなテスト、いりますかね。最低だなと思いました。

2. 試験会場の環境として不備があります。

- ①イヤーマフがあわない、画面が変わらない、音声認識しないなど機器のトラブル(12件)
- ②隣の生徒の声が聞こえてしまい、集中できなかったり、解答がわかってしまうことがあった。(1件)
実施中に周りの音声や回答が聞こえてしまう、もしくは周りが回答を真似していた(11件)
- ③他校の生徒がとても騒がしかったそうです。具体的には、1)試験監督の指示中にも関わらず、ペットボトル飲料を机の上で何度も投げたり落としたりする。2)試験官が上記を指導しない。
3)トイレでの大声での会話が教室にも聞こえた。(1件)
- ④他校生が、試験会場で暴れていたとのこと。区外の中学校であったため面識はなかったが、試験が始まっても大きな声を出していたそう。事前指導を徹底する旨や、妨害行為があれば退出させるなど、厳しいきまりをつけるべき。入試に関わるテストであれば、試験外の振る舞いに対しても厳格にするべきだと感じる。
(他校生のトラブル③を含め4件)
- ⑤問題漏洩(休憩中に前半組と後半組で話をしていた、待機中に隣の教室から音声がかえった等)、(1件)
- ⑥とにかく、待ち時間が長すぎた。(4件)
後半の生徒は集中力を欠いてしまい、不利ではないのか、という意見も。(1件)

寄せられた教員の声の96.4%が申し込み作業に負担

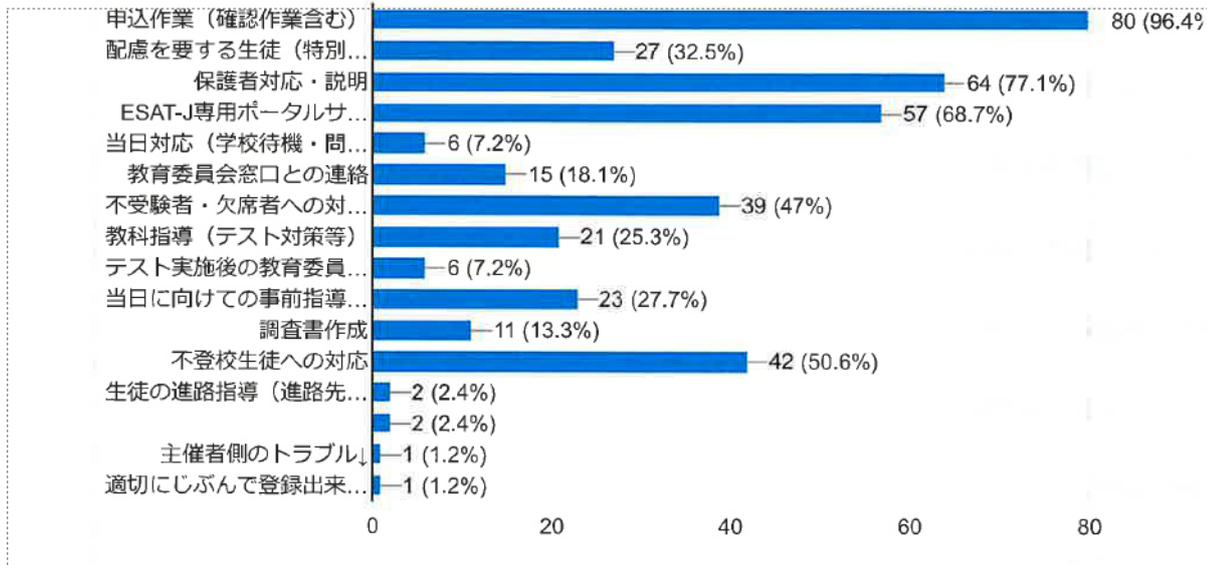
2024/12/16 9:38

2024年度英語スピーキングテストESAT-J（11月24日実施）実施状況調査アンケート

3. ①スピーキングテストの業務で、困ったこと・負担を感じたことなどはどんなことですか。（複数回答可）※なければ飛ばしてください

コピー

83件の回答



- ①システムが確立していないのに、実施しないでほしい。その状態で、中学生にとって大切な進路に関わる入試に絡めるのは問題だと思う。申込が複雑すぎる。教員の負担がとても増えた。
- ②何度声をかけても登録作業を行わない保護者がおり、担任の声かけに逆ギレして険悪になる事例があった。このテストを今の形式で続けるならば、保護者の同意があれば、受験しなくてもよいようなゆるい仕組みにしてほしい。ESAT-Jをきっかけに保護者と学校の信頼関係が崩れるのは本末転倒に感じる。
- ③保護者の登録が大変すぎる。紐付けてもつかわないので、保護者の登録必要ないです。
- ④要項には、受験票を各自で印刷と書いてあったが、実際には学校に送付され、結果的に誤った指導になった。しかも、保護者がその件で直接問い合わせたところ、印刷なくていいと言われたらしく、要項と逆のことを言っている。あり得ない。
- ⑤現場で確認する作業が多い。写真・名前・クラス・出席番号などの確認には、かなり時間がかかり、教員の負担が大きすぎる。また、ESAT-JのIDの紐付けの案内が遅いと感じた。year2を配布した後のため、紐付け自体できる人とできない人がいる状態だった。IDやコードがわからない人は学校に聞くような案内がパンフレットに書かれていたが、それは相当な人数の人に一人ひとり伝えることになる。これも相当負担になる。また、紐付けても、保護者の登録作業が楽になることはなく、むしろ手間になっていた。
- ⑥保護者ページの作りが悪く、生徒アカウントとの紐づけをしていない、組・出席番号・写真などの誤りや不備が多数発生する。結果、確認や連絡に要した時間は膨大で数十時間に達します。また、体調に不安のある配慮を要する生徒に関しては、電話でも状況を伝え、自宅近くの会場にしてくださいとお願いしたにもかかわらず、他生徒よりもむしろ遠い場所にされてしまったことには驚きを隠せません。当日までに周知する手引きな

ども、次々と別で送られてきましたが、あまりにも無駄が多かったと思います。もう少し精選していただいて、そのたび説明が必要になるようなことがないようお願いしたいと思います。

- ⑦1年生の登録と3年生の受験が重なり、作業がかなり負担だった。学校のことが分かっていない方々がやっているとしたし思えない。実情、現場を知らず、現場に押しつけるのは、やめてほしい!!
- ⑧テスト内容や生徒の録音状況を拝見したうえで、このテストでどれだけ生徒の話す力が図れるのか疑問です。実施するのであればテスト方法の再検討が必須かと思えます。また、手続きに関しては、保護者任せにするのであれば事実上希望受験にさせていただきたいです。
- ⑨2次元コードなどが書いた紙を捨ててしまった生徒がいたので、捨てないようにわかりやすく伝えていただきたい。3年生でも使うものだと、明示的に示しておくなど。クラスも去年のままの並びだったので、後から一人ひとりに二次元コードを伝える作業に時間がかかりました。
- ⑩保護者の登録申請画面が分かりづらい。エラーが出たり、修正が必要なのに登録ができてしまったり、その修正に関しては、学校側が保護者に連絡をしていく必要があり、大変だった。システム問い合わせに連絡しても、「確認します」のみで数週間待たされることもあった。1,2年から登録させて、やらせるメリットを感じない。英語科教員が疲労するだけ。
- ⑪とにかく中学校側に情報がきません。試験前後の対応や都立入試に向けた対応は中学校側が行います。事前指導も中学校です。当日の運営はお任せしていますが、中学校とESAT-J本部の両者が動いているということは忘れないでほしいです。中学校側も対応をしているからこそ、情報がきていないと、かなり困ります。保護者から困りましたと連絡を受けても、分からず困ります。全対応をESAT-J本部がやっているわけではないので、情報共有や連携は必須なのではないでしょうか。かなり困り、モヤモヤが残り、次年度も同じことの繰り返しかと思うと気が重いです。
- ⑫「〇〇日までに訂正してください」→「その対応は不要です」などのように指示が全く変わってしまったり、WEBサイトに不備があったりするなど非常に不信感を抱かざるを得ない対応ばかりでした。何卒、今回明らかになった不具合を修正して、よりよいものにしていただきたいと存じます。保護者・生徒と学校との信頼関係にも大きく影響することなので、ご対応をお願いいたします。
- ⑬昨年度の結果が返却されたときに、今年度の申し込みに必要なことがわかっていたのであればそれは事前に通知するべき。処分してしまった家庭にコード等を再発行するのに時間を要し、かなりの負担だった。説明会の時点でページが完成していなかったり、決まっていない事項が多すぎてあの時期に説明会を開催する意味があったのか疑問に思った。窓口が開設されていても保護者は結局学校に問い合わせることが多かった。その時のために具体的な説明や細かい表示があるパンフレット等を用意していただきたい。
- ⑭配付文書の到着が、配布日の直前である。余裕をもった日程で連絡、配送をして欲しい。英語科の教員がすべきことが多い。学校側の負担が大きい。
- ⑮1日かけてやる意義を全く感じない。
- ⑯余計な業務が多すぎて、教科の指導、その他の仕事に影響が大きい
- ⑰都立受験をしない生徒にとっては、受験の意味を見いだせない内容となり、原則全員受験を説明することも難しく、教員の負担が大きい。確認作業を最終的には教員が行い、不備があっても学校対応となるため、教員負担が大きい。